

「新百合丘オーパ」改修プロジェクトにて循環型素材を実証導入

廃棄コスメを活用したアップサイクル建材の開発に関するお知らせ

フクビ化学工業株式会社（以下「当社」）は、株式会社OPA（以下「OPA」）および株式会社モーングータ（以下「モーングータ」）との3社協業により、商業施設「新百合丘オーパ」の館内で回収された廃棄コスメを原料としたアップサイクル建材を開発しました。本建材は同施設の改修空間における館内装飾として導入され、資源循環を“見える形”で体現する取り組みとして実施されました。



施設2階女子トイレ



施設2階男子トイレ



休憩コーナーのメッセージボード

■ 本取り組みのポイント

- ✓ 化粧品廃材を活用した建材を商業施設に導入
- ✓ 再生原料を実空間で使用可能な建材として開発
- ✓ 廃材を価値へ転換する「再価値化（Revalue）」を実現

■ 取り組みの背景

化粧品業界では、使用されずに廃棄されるコスメの存在が課題となっています。本プロジェクトは、この課題に対し「新しいサステナブルの形」を提案する試みとして、施設を起点に回収された廃棄コスメを建材として空間に還元することで、資源循環のプロセスを可視化し、お客さまが大切にされていた「想い」を施設の一部として未来へ受け継いでいくことを目指しました。

■ 取り組みの概要

本取り組みでは、モーングータが再生したコスメ由来のバルク原料に当社の樹脂成形技術や建材開発の知見を融合させました。素材特有のラメ感や色彩といった意匠性を活かしつつ、実際の建築空間で求められる性能を備えた資材へと仕上げています。開発した建材は施設の2階トイレ洗面空間の一部に採用されたほか、休憩コーナーにおいては塩ビクロス廃材を活用した素材も導入し、用途に応じて複数の廃材を使い分けた空間づくりを行いました。

また当社は開発型メーカーとして、あらゆるものを資源と考え、廃材や未利用資源を活用した製品開発を進めています。また、環境配慮型商品「Fukuvalue」を通じた資源循環への取り組みを強化し、従来の「Reduce・Reuse・Recycle・Renewable」に続く5つ目の「R」として「Revalue(再価値化)」を今後も社会に実装してまいります。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

フクビ化学工業株式会社 建材事業本部 建材開発部 新市場開発グループ

〒918-8585 福井県福井市三十八社町 33-66

TEL：0776-38-8017

MAIL：y-shima@fukuvi.co.jp